

九条北小学校 校長室だより

N0.40 令和6年1月22日



「学校給食」の始まりと言われているのは、明治22年（1889年）、山形県の現在は鶴岡市というところの小学校で、お弁当を持ってこられない子どもがたくさんいたため、無料で食事を提供したことからといわれています。

その後、全国で学校給食が実施されるようになりましたが、戦争による食料不足で一旦中止することが決まりました。戦後、再び、栄養失調の子どもたちを救うために再開されました。



★児童たちがつくった「きゅうしょく川柳」を掲示しています！★

児童集会では、給食委員会が「給食週間」の発表をしてくれました。また、1階の掲示板に、「給食週間」の取り組みで、各学年の児童が考えた「きゅうしょく川柳」を掲示しています。一部紹介します！

まだかなあ たのしみすぎて おなかすく(1年)



おにくパワー！！ きんにくつくる さいこうやー！！(1年)

給食を しっかり食べて げんきでる(2年)

うれしいな にがてなものも 食べれたよ(3年)

おいしいな 幸せの味 ありがとう (4年)

あいさつは 感しゃの気持ちで いただきます(4年)

給食を 食べるとみんな 元気出る(5年)

六年間 ありがとうございます(6年)



★「給食週間」について★

*児童朝会で「給食週間」の話をしました。

先週は「保健強調週間」でした。規則正しい生活リズムに心がけ、手洗いもしっかりとるように、環境・健康委員会より呼びかけてくれました。皆さん一人ひとりも、毎日「チェックカード」で振り返りをしました。健康な生活をするために大切なことですから、「保健強調週間」が終わっても、ぜひ続けましょう。

さて、先週金曜日に給食委員会よりお知らせがありました。**九条北小学校の「給食週間」は、今日1月23日(月)～27日(金)**です。

給食委員会の発表の中では、「学校給食の歴史」や「給食調理員さんへのインタビュー」など紹介してもらいました。インタビューの中で、朝の7時半から、皆さんの給食を作る作業が始まっていることに、みんな驚いていましたね。

「学校給食」の役割は、時代とともに変化しています。現在では、食べることが困難だったころから大きく変わっています。今では、好きなものを、いくらでも食べることができますよね。好き嫌いで、好きなものばかり食べたりしていませんか。それによって、体の成長や健康に悪い影響が出てくることがあります。だから、**現在の「学校給食」は、バランスのよい食事のお手本としての役割を担っているんですね。しっかりと、好き嫌いなく食べるようにならねば！**

皆さんも給食週間の取り組みとして、「給食川柳」を考えてくれましたね。どんな「給食川柳」ができたのか楽しみにしています。そして、「給食週間」の機会に、食材である野菜やお肉などの「命」をいただいていること、そして、作ってくれる方々に感謝して、おいしくいただきましょう。そして、給食の時には、

**おいしい給食を食べることが
できることを感謝し、心を込めて
「いただきます」をしましょう！**

